



平成 28 年 8 月 12 日

各 位

上場会社名 株式会社ファーストエスコ  
代表者名 代表取締役社長 島崎 知格  
(コード番号：9514 東証一部)  
問合せ先 常務取締役 小池 久士  
(TEL.03-5299-8521)

繰延税金資産の計上、平成 28 年 6 月期通期連結業績の予想値と実績の差異  
及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、平成 28 年 6 月期において繰延税金資産の計上を行うことといたしました。  
また、平成 27 年 8 月 13 日に公表いたしました平成 28 年 6 月期（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の通期業績予想と、本日公表いたしました実績に差異が生じました。  
また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、平成 28 年 6 月期（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の個別業績につきましても、前事業年度の実績値と差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社グループは、平成 28 年 6 月期において「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（平成 27 年 12 月 28 日 企業会計基準適用指針第 26 号）の早期適用を実施することといたしました。これにより、平成 28 年 6 月に公表した「第 4 次中期経営計画」に基づき、将来節税効果が見込まれる税務上の繰越欠損金について合理的と判断できる範囲で不足分の見直しを行い、繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額（利益）747 百万円を計上いたしました。

2. 通期業績の予想値と実績の差異について

平成 28 年 6 月期通期連結業績と予想値の差異（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,850	1,500	1,400	1,250	71.75
通期業績 (B)	6,150	1,300	1,172	1,880	107.90
増減額 (B-A)	△699	△199	△227	630	
増減率 (%)	△10.2	△13.3	△16.3	50.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 6 月期)	7,049	1,553	1,447	966	58.12

### 3. 通期連結業績と予想値の差異の理由

売上高は、当初計画において省エネルギー支援サービス事業の新規顧客の省エネ設備導入及び顧客の業況改善によるオンサイト自家発電事業の稼働向上を見込んでおりましたが、輸出関連業績が伸び悩んだ結果、想定を下回ることとなりました。また、グリーンエナジー事業の電力販売においても、エフオン日田の期初の計画外停止が響き、年間を通じた同事業セグメントの予想値についても計画値を下回る結果となりました。

営業利益につきましては、上記の売上高の減少と新設のエフオン豊後大野発電所の人件費やユーティリティ、所内発電前の購入電力等の試運転経費が予想を上回ったことにより、想定を下回る結果となりました。

経常利益につきましても、営業利益の減少のほか、既存発電所の一部設備の更新に伴う固定資産除却費用が発生したため、想定を下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記「1. 繰延税金資産の計上について」に記載のとおり法人税等調整額を計上したことにより、当初見込を大幅に上回ることとなりました。

### 4. 個別業績の前期実績との差異について

平成 28 年 6 月期通期個別業績の前期業績値との差異（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	5,614	597	353	21.24
当期実績 (B)	7,445	371	1,167	67.01
増減額 (B-A)	1,830	△225	814	
増減率 (%)	32.6	△37.9	230.6	

### 5. 個別業績の前期実績との差異の理由

売上高は、省エネルギー支援サービス事業のオンサイト自家発電事業の一部プロジェクトの満期終了や燃料調達方法の変更により外部売上高が減少した一方、当社グループの発電所建設に係る工事進行基準売上高が大幅に増加し、前期を上回る結果となりました。

経常利益につきましては、外部売上高が減少し、当社グループの発電所建設に関しての利益を計上していないことから減少となりました。

当期純利益につきましては、上記「1. 繰延税金資産の計上について」に記載のとおり法人税等調整額を計上したことにより、大幅に増加することとなりました。

以 上